



5/1 シングルファミリー応援子ども食堂 🍷&スクール



5/2 現地支援130回目は珠洲市伏見集会所で炊出し&お楽しみ抽選会 スタッフも一緒にお食事会



5/3～5 九谷茶碗まつり 3会場ほか工房開放で大賑わい



絵付け体験、今年は犬の置物に挑戦



5/4 珠洲市大谷地区みんなのスーパーで「鯉のぼりまつり」に子どもゲームコーナー出店 #頑張ろう！能登

5/5 花まつりに参加 パンダで遊ばれてきました



5/6 泉谷ますひろ選挙応援 5/7 能登現地 居場所支援 16カ所周り

5/13 生活困窮者弁当お届け 5/13JA根上女性部主婦大学講師 5/15 三道山子ども食堂



5/16 県郷友会定期総会 5/18 三道山町運動会 5/20 能登地震避難者じんのびカフェ



5/26 宮竹小学校福祉体験

5/28 県民スポーツ大会結団式

5/31 市民ワークショップ



6/4 生活困窮者弁当お届け

6/5 シングルファミリー応援子ども食堂

6/6 屋根シート張り研修

6/7 自衛消防団技能演習



6/10 能登現地居場所支援134回目 6/7 市民スポーツ大会トランポリン競技 6/4 辰口中央小福祉体験

6/12「災害時の食支援」学習会

令和8年 第57号

令和8年6月議会報告

思いが叶う能美市に！

～能美市政報告～ 絆 きずな

能美市議会議員
たなか さくじろう
田中 策次郎



7/18 のみ♡子育てネットワーク研修



7/19 親子自然体験
「ぼくもわたしもトムソーヤ2026」



7/17 三人目の孫ちゃん玲央くん誕生
2,892g と母子ともに元気
二人のお姉ちゃんも可愛いがり



7/21 市立病院構想 市民との意見交換会



7/26 能登地震 能美市避難者の
語らい場所づくり「じんのびカフェ」



7/27 0歳から18歳までの地域全体での
切れ目のない子育て支援研修「0 to 18」



7/28 能登空港での「被災地の
子どもの居場所づくり」会議

7/29 災害ボランティアセンター
運営訓練(能美市防災ネットワーク)



7/30 能登現地支援 138 回目

7/31 小松基地納涼祭
熊本地震で活動する自衛隊員へ
激励の野村基地司令太鼓演奏





6/15 珠洲市上黒丸仮設で、集いの場所づくり炊き出し 🍷 食後は一緒にデザートタイム 🍰🍷 最後はお楽しみ抽選会で能美市のお米をプレゼント 🍷🍷



6/19 三道山子ども食堂 お食事のカレーは特大海老フライ&ケーキ付き 🍷

6/21 九谷町での防災講演 🍷



6/24 能登居場所支援 ピースウィングスジャパン屋内子ども施設「ずっぴろほ」見学 6/26 市長とのタウンミーティング

6/21 能登地震避難者じんのびカフェ
ブロードウェイ俳優 由水南さん来訪 🍷



6/27 珠洲市上戸仮設住宅で炊き出しも盛況に終了 🍷

お楽しみ抽選会の景品は能美市のお米 🍷🍷



6/28 能美市消防団総合訓練

7/1 岡山県「たまの病院」と香川県「みとよ病院」視察

7/3 シングルファミリー応援子ども食堂



7/6 県民スポーツ大会トランポリン競技

7/7 市身障者協会根上支部
バス遠足サポート

7/9 被災地 見守り訪問 🍷 仮設住宅や集会所 17 カ所回り



7/13 部活動地域展開の講演会

7/15 能登地震避難者「じんのびカフェ」

7/15 生活困窮者弁当お届け

7/17 三道山子ども食堂に80人がご利用

●不登校児童生徒の給食提供について



昨年9月の一般質問では、不登校児童生徒への支援として、教育センターふれあい教室での給食提供を提言しました。現在は弁当持参が必要なため、給食がないことを理由に通室を控える児童生徒もいると聞いている。給食提供には設備や人員などの課題があるが、「こどもまんなか社会」の実現と不登校支援の観点から、給食提供の検討状況と進捗について問う。

答 井出 敏朗 市長

不登校児童生徒や学校に通えず自宅で過ごす児童生徒と保護者を対象に、市学校給食センターで給食を提供する「のみっこキッチン」を開始する。教育センターでの実施は運営上の課題があったため、能美スクールランチパートナーズの協力を得て実現した。月1回程度、人気メニューの日に開催し、児童生徒は無料、保護者は実費負担とする。予約不要で、パーティションの設置やBGMを取り入れた安心できる環境づくりに加え、教育センターからの送迎支援も行う。給食を通じて心身の健康増進と学校・社会とのつながりを育み、不登校児童生徒や保護者の孤立防止と安心感の醸成を図る。



能美市議会 YouTube 田中策次郎6月一般質問

●メタバースを活用した授業について

文部科学省は2024年度から教育メタバースの試行運用を開始し、心の負担が少ないアバターでの交流を通じて、学びや社会とのつながり、社会的自立を支援しています。本市でも、不登校児童生徒への新たな学びの場として、バーチャル教育メタバース空間を提供する事ができないか。

答 横関 達人 教育長

不登校児童生徒への支援は重要課題であり、国のCOCOLOプランに基づき、誰一人取り残されない学びの保障を進めます。本市では、別室登校支援やオンライン学習、教育センターやスクールソーシャルワーカーによるアウトリーチなど、一人一人に応じた支援を実施している。メタバースは居場所づくりとして期待される一方、継続利用や運営体制、費用面などの課題もあるため、現時点では対面支援やオンライン学習の充実を優先し、今後もメタバースを含む新たな技術の動向を注視し最適な支援を進める。



●耐風診断と耐風改修工事助成制度創設について

令和4年1月の建築基準法改正により、瓦屋根の耐風基準が見直された。しかし、耐風対策は耐震化に比べ市民への周知や支援が十分ではない。災害による被害を未然に防ぐ事前防災の観点から、老朽化した屋根や外壁の点検改修を促進するため、耐風診断や耐風改修工事への助成制度を創設し、耐風対策を積極的に推進出来ないか。

答 小西 俊明 土木部長

耐風診断は全ての既存住宅に一律で求めるものではないが、瓦のずれや浮き、屋根や外壁の劣化が見られる場合は、専門業者による点検や必要な修繕が重要であると考えている。市では、広報紙やホームページを通じて点検や早期修繕の必要性を周知し、安全確保に努めていく。また、国の耐風診断・改修補助制度は本市の基準風速では対象外となるが、能登半島地震での屋根被害も踏まえ、他自治体の制度運用や利用実績を調査し、支援の在り方について研究していく。



●耐震シェルター助成制度の創設について

比較的低コストで命を守る対策として、住宅内に設置する耐震シェルターや防災ベッドが注目されている。全国では、耐震改修が困難な世帯への支援として助成制度を導入する自治体も増えている。令和6年能登半島地震の場合も、奥能登では後継ぎのいない高齢者のみの世帯が高額となる耐震工事をためらい、被害が大きくなったとも伝えられている。能美市の住宅耐震化率は約72%であり、市民の命を守る現実的な施策として、耐震シェルターや防災ベッド設置への助成制度の創設を問う。

答 小西 俊明 土木部長

耐震シェルターや防災ベッドは、住宅倒壊時に命を守る減災対策として一定の効果が期待をされる。本市では、全国的にも手厚い最大230万円の住宅耐震改修補助制度の活用を基本とし、その上で耐震改修が困難な世帯への支援策として、国・県や他自治体の制度や利用実績、対象製品の評価などを踏まえ、調査研究を進めていく。

ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆

ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町チ 16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail 3926@nomi-city.net http://3926jp.net



ホームページ



facebook ページ

議会 YouTube 配信

意見交換会や
本会議の中継を
発信しています

